

3 報告事項

- (1) 令和6年度資料館事業報告
 - 浜田郷土資料館 ……1
 - 金城民俗資料館・金城歴史民俗資料館 ……7
 - 浜田城資料館 ……17
 - 各資料館・支所展示利用状況 ……21

- (2) 郷土資料整理業務について ……23

令和6年度浜田市浜田郷土資料館事業報告書

1. 展示事業

- (1) 第一次常設展
【併設コーナー展示】 浜田の歴史展 4月5日(金)～5月31日(金)
『 令和5年度市民寄贈資料披露展 』
(民具、古書籍、古写真、古文書、古地図、その他)
- (2) 第二次常設展
【併設コーナー展示】 浜田の歴史展 6月20日(木)～8月20日(火)
『 新1万円札の顔は渋沢栄一 』
～渋沢の登場はこれが2回目 この札を含め明治以降の札を展示～
- (3) 第三次常設展
【併設コーナー展示】 浜田の歴史展 9月15日(日)～12月15日(日)
『 僕のこだわり展 』 partⅢ
～楯ヶ瀬 孝の蛇胴古紙作品の魅力～
- (4) 第四次常設展
【併設コーナー展示】 浜田の歴史展 1月 4日(土)～ 3月15日(土)
『 懐かしい、明治・大正・昭和の古民具と
風景パネル写真展 』 partⅡ
(常設展では学童見学対象展示を行う)

* 展示では、常設展で浜田の歴史文化を紹介するとともに、展示室の一部を利用して、テーマを定めて企画展を行う。
* 企画展等の内容及び期日については、都合により変更することがある。

2. 資料収集調査事業

- (1) 資料整理 資料購入及び個人、団体からの寄贈品等について、調査、整理、保存を行う。

(2) 資料購入

① 本居宣長の「和歌短冊」	睡西書屋	5
② 松平康福「書状」	"	1
(合計)		6

(3) 一般寄贈資料

(民俗資料) 民具	29	(歴史資料) 古地図・古文書他	3
(美術工芸) 絵画その他	0	(写真資料) 古写真、古絵葉書	1
(考古資料)	0	(その他) 古書籍、その他	44
		(合計)	77

(4) 移管資料(市教育委員会)

(民俗資料)	0	(歴史資料) 古地図・古文書他	0
(美術工芸)	0	(その他)	0
		(合計)	0

3. 友の会活動育成事業（発表者等の敬称略）

4月9日	会計監査	10月15日	会員発表 「ガイドから見た浜田城」 発表者: 榎ヶ瀬 孝 (14名参加)
4月11日	第1回役員会	11月16日	会員発表 「人生100年時代～120年時代へ」 発表者: 吉田傳治 (10名参加)
4月15日	総会（14名参加、委任状20）	12月7日	歌謡曲鑑賞会 「続・懐かしの昭和を聴こう会」 進行: 事務局 (10名参加)
5月12日	現地研修(三宅御土居跡他) 福祉バス利用(12名参加)	1月18日	会員発表 「石見の古代寺院」 発表者: 藤田大輔 (19名参加)
6月22日	会員発表 「新1万円札の顔は渋沢栄一」 発表者: 大畑実次 (13名参加)	2月13日	第2回役員会
7月15日	講話 「愚僧の人生論」 講師: 光超寺住職・日原隆照 (19名参加)	2月15日	会員発表 「改めて石見神楽をみる考える」 発表者: 芦谷英夫 (13名参加)
8月3日	自由意見交換会 「現存場所での資料館増改築及び 駐車場の整備案など」 進行: 事務局（12名参加）	3月8日	文化講演会 「浜田藩『浦方』の成立～東浦 を中心に～」 講師 浜田市教育委員会市誌編纂員 鍵本俊朗 (64名参加)
9月21日	会員発表 「幕長戦争について」 発表者: 石津公雄 (14名参加)		

4. ボランティア活動育成事業（令和7年3月末日現在、登録者9名、活動保険加入）

・現在のところ活動なし

令和6年度浜田郷土資料館入館者状況

展示事業名	期 間	展示日数 (日)	入館者数 (人)	一日当たり (人)
第一次常設展 浜田の歴史展 企画展 「令和5年度市民寄贈資料展」	4/5~5/31	49	361	7
第二次常設展 浜田の歴史展 企画展 「新1万円札の額は渋沢栄一」	6/20~8/20	53	321	6
第三次常設展 浜田の歴史展 企画展 「僕のこだわり展～」	9/15~12/15	78	400	5
第四次常設展 浜田の歴史展 企画展 「懐かしい明治・大正・昭和の 古民具と風景パネル写真展」	1/4~3/15	60	274	5
合 計		240	1,356	6
(参考)	令和5年度 合計	270日	1,522	5.6
	令和4年度 合計	263日	1,221	4.6
	令和3年度 合計	226日	1,360	6

令和6年度団体入館者内訳

月 日	団 体 名	見 学 内 容 等	入館者数 (人)
5月25日	浜田リクリエーション協会	常設展及び企画展	17
5月26日	旭町市木地区の方々	〃	19
7月25日	江津市社協本町支会	〃	13
8月2日	〃	〃	12
10月11日	浜田市養護学校	〃	7
10月16日	鳥根県立大学	〃	6
10月17日	〃	〃	10
11月29日	浜田市養護学校	〃	10
	合 計		94

❖ 鱗模様に魅せられ、こだわり続け辿り着いた先は… アップサイクルというSDGs活動に繋がった!

第三次浜田の歴史展では、浜田市を中心とする考古・歴史・民俗・書画・古写真など人々の歴史や生活・文化に関する資料を、一部入れ替えて展示いたします。



● 蛇胴紙とは

石見神楽「大蛇」に登場する、大蛇の蛇胴専用に使われた丈夫な石州和紙のことをいいます。激しく動くため、以前は2枚張りでしたが現在は3枚張りになっています。

● 資料寄贈御礼

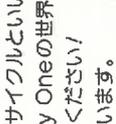
令和6年7月～9月に市民の皆様から、貴重な資料をいただきました。厚くお礼申し上げます。

三階町 石川 美和子様
三階町 中村 美栄子様

僕のごだわり展

● 石見神楽の蛇胴古紙を小物ごと蛇皮

併設コーナーでは、友の会会員の楳ヶ瀬孝さん(外ノ浦町)による「僕のごだわり展」を開催します。約20年使用した蛇胴紙を、損傷した箇所を補強や糊色を行い、手作業やミシンを使ってペグケースや名刺入れなど様々な小物に生まれ変わらせます。「原料」ではなく「素材」として新たな息を吹き込み、その寿命をさらに延ばし価値を高めることをアップサイクルといいます。楳ヶ瀬孝さんのOnly Oneの世界をゆっくりとお楽しみください! ご来館をお待ちしています。

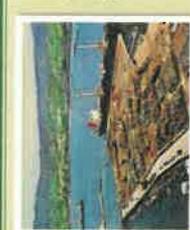


【開催】9/15日▶12/15日
【期間】月曜日・祝日の翌日
【開館時間】午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
【休館日】月曜日・祝日の翌日

入場無料

懐かしい古民具と風景パネル写真展

第四次浜田の歴史展では、浜田市を中心とする考古・歴史・民俗・書画など人々の歴史や生活・文化に関する資料を一部入れ替えて展示しています。



併設企画「二十一展」では子どもから大人まで楽しめる企画「明治から昭和にかけての懐かしい古民具と風景パネル写真展」を開催します。若い方や子ども達にとっても、うしろやうしろアイロンなど…現在とは異なる大きさや素材・機能も現在とは異なる民具。昔の人達のアイデアもさることながら、現在の形にだらしなくくままでの、先人達の努力と職人技を身近に感じてください。今は全く違う街並みや景色を一枚に納めた写真の数々と一緒に、ゆっくりとお楽しみください!



【開館時間】午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
【休館日】月曜日・祝日の翌日
安全のため
【改正～昭和期】
二階式
写真機

併設企画「二十一展」
明治・大正・昭和
1月4日(土)～3月15日(土)まで
入場無料

❖ 鱗模様に魅せられ、こだわり続け辿り着いた先は… アップサイクルというSDGs活動に繋がった!

第三次浜田の歴史展では、浜田市を中心とする考古・歴史・民俗・書画・古写真など人々の歴史や生活・文化に関する資料を、一部入れ替えて展示いたします。



● 蛇胴紙とは

石見神楽「大蛇」に登場する、大蛇の蛇胴専用に使われた丈夫な石州和紙のことをいいます。激しく動くため、以前は2枚張りでしたが現在は3枚張りになっています。

● 資料寄贈御礼

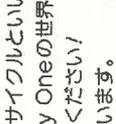
令和6年7月～9月に市民の皆様から、貴重な資料をいただきました。厚くお礼申し上げます。

三階町 石川 美和子様
三階町 中村 美栄子様

僕のごだわり展

● 石見神楽の蛇胴古紙を小物ごと蛇皮

併設コーナーでは、友の会会員の楳ヶ瀬孝さん(外ノ浦町)による「僕のごだわり展」を開催します。約20年使用した蛇胴紙を、損傷した箇所を補強や糊色を行い、手作業やミシンを使ってペグケースや名刺入れなど様々な小物に生まれ変わらせます。「原料」ではなく「素材」として新たな息を吹き込み、その寿命をさらに延ばし価値を高めることをアップサイクルといいます。楳ヶ瀬孝さんのOnly Oneの世界をゆっくりとお楽しみください! ご来館をお待ちしています。



【開催】9/15日▶12/15日
【期間】月曜日・祝日の翌日
【開館時間】午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
【休館日】月曜日・祝日の翌日

入場無料

1/4～3/20
古民具と風景パネル写真展 part2
令和7年

企画展「友の会」例会会費発表は… スペシャルリストによる理想のカタチに

令和6年夏に開催された併設企画「二十一展」新二万札の額は発行済み。この会期中に企画書でもある大畑さんが「友の会」例会の会費発表をされました。明治以降の日本政府・銀行発行の紙幣についてお話しされた後、実際に展示されている紙幣を買ながら、銀行によって文字や印が違ったり、資本金額によって発行される枚数が違うなど、わかりやすく説明されました。また質問されたことに対して多くのお答えになり、企画者ならではの知識の深さなどに驚くばかりでした。体感に直に伝わるとも充実した時間となりました。友の会に興味のある方は、お気軽にご連絡ください!



石見郷土研究話会で、郷土石見No.35(発行1994年4月)と郷土石見No.43(発行1996年12月)は、県西部の歴史や文化を研究されている方々から「郷土石見」を研究していただき、発行が発表されています。発行(現在121号まで発行、郷土資料館で販売中)としても貴重な資料を、三階町の中村さんが83冊を寄贈されました。

令和6年夏
高橋 誠 寄贈展
4/5～5/31
令和7年

「可愛らしく
味わい深い」
郷土人形
高さ僅か16cmの土でできた郷土人形。暮らしに余裕のなかつた町人達の間に広まりました。素朴な味わいが、多くの人々に愛されています。

浜田郷土資料館「友の会」主催
文化講演会のお知らせ
〔演題〕浜田藩「浦方」の成立
〔講師〕榎本俊朗氏
〔日時〕令和7年3月8日(土)午後1時30分から
〔会場〕石見まちづくりセンター(黒川町)
〔入場料〕無料
3月8日(土)に、浜田市浜田郷土資料館区会の会費主催の文化講演会を、浜田市教育委員会市誌編集室専門員の榎本俊朗氏をお迎えし開催します。浜田藩の行政区画は、村方(地方)、浦方、町方に三分なれていました。この形がいつ発生したのかを城下町図や演説人の系譜から探っていきます。また、浦役人の活動や浦方の納税から浦行政の特色などを見ていきます。浜田の歴史に興味のある方はぜひこの機会に聴講してみられませんか? 榎本俊朗氏をお迎えし開催します。



令和6年度 金城資料館事業報告

【展示関係】

- ◎ 民俗資料館（開館 51 周年）
 - ・ 常設展「石見の山村生産用具展」
 - ・ 常設展「石見の山村生活用具展」
- ◎ 歴史民俗資料館（開館 46 周年）
 - ・ 常設展「石見のたたら製鉄」(1 階展示室)
 - ・ 常設展「チベット巡礼探検家能海寛展」(1 階展示室)
 - ・ 企画展「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」 — 浜田県時代のたたら製鉄 — (歴史館 2 階展示室)



会期 2024 年 6 月 1 日(土) ~ 2024 年 12 月 28 日(土)

※ 来館者へ「波佐まるごと博物館」の推進を図るためスタンプラリー帳を交付した。

【広報関係】

「かなぎ民俗」の発行。文化財啓蒙啓発の発信を図る。

4 回（82 号～85 号）。

企画展用「明治時代の日本坑法に見るたたら製鉄」のパンフレット作成。

石見美術館からアーティスト(8 名) 視察受入。12 月 15 日(日)。成果は、4 月 27 日に発表。

東京文化財研究所から研修視察受入(4 名) 3 月 21 日(金)

【文化財保護活動】

- ◎ 文化財防火デー金城資料館自衛消防隊員による「消防総合訓練」を実施。併せて、AED を用いた救命救急講習会を実施。波佐スポーツ少年団、波佐まちづくりセンターも参加。

実施日 2025 年 1 月 25 日(土) 10:00 ~ 12:00

【民俗資料回想セラピー】

- ◎ 福祉施設、高齢者クラブと連携して、認知症の予防抑制に「民俗資料回想セラピー」を推進する。

【資料整備】

諸職用具の市指定文化財候補書類データ完了答申待ち。

【客員研究員制度】

敦煌民族研究所員 根敦 阿斯尔氏（継続）

【出前講座】

- ◎ 金城民俗資料館での民具学習実施。

2 月 19 日(水) 雲城小学校 3 年生 24 名、引率者 2 名。

【日常管理】

来観者の傷害保険の加入。

館庭の草刈清掃(8 回) 実施。

積雪期の除雪作業(4 回) 実施。



浜田市金城資料館アンケート調査から

(令和6年度分)

【何で知りましたか】

・市報はまだ 9.5% ・インターネット 42.8% ・口コミ 33.4% ・新聞・テレビ・雑誌 14.3%

【 関心の分野 】

・歴史 33.3% ・民俗 27.8% ・郷土史 25.0% ・偉人 13.9%

【 資料館で関心をもったもの 】

・民俗資料 28.6% ・たたら関係資料 30.9% ・能海寛資料 26.2% ・企画展 14.3%

【来館者】

・男性 68.4% ・女性 31.6% ・平均年齢 56.9 歳

【 感想・コメント欄 】

- ◆ 非常に素晴らしい時間でした。ありがとうございました。
- ◆ 資料が良く残されている。判り易かった。
- ◆ よくわかりました。是非もっと多くの方に知って頂きたいと思いました。
- ◆ 昔の民具を見ることで自分の生き方を内省するきっかけにもなりました。
- ◆ 資料の多さに驚きました。昔の人のご苦勞が忍ばれます。一年間行事を地域の皆さんの努力があり、継続されて、今日があることに感動した。
- ◆ 館内の諸資料の説明が詳しく、良かったです。
- ◆ 説明を丁寧にしてもらい資料の内容が良くわかりました。
- ◆ とても面白い展示がいっぱい有ってよかったです。
- ◆ 知らないことを初めて知ってよかったです。
- ◆ 能海寛関係で来て見ましたら、非常に興味ぶかかった。
- ◆ たたら製鉄だけでなく、豊かな文化に触れることができました。
- ◆ 説明していただいたので判り易かったです。
- ◆ 驚きの連続です。
- ◆ 初めて見るものも多く良かったです。
- ◆ とても判り易く説明していただきました。もっと知りたいとおもったので多くの方にも興味を持ってほしいと思いました。
- ◆ 日本の宝です。もっと光を当てるようにします。
- ◆ 大変素晴らしかった。又人を呼びます。
- ◆ 貴重なものを拝見感謝しています。
- ◆ 資料の保存の大切さを感じました。

「ふるさと学習」は 金城歴史民俗資料館で



金城歴史民俗資料館は、縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代と全時代が継続する遺跡から出土した埋蔵文化財 3,000 点を以って古代史・中世史を学習するのに相応しい資料館である。古代から栄えた「黒金(たたら製鉄)」を産出する、鉄穴場、炭焼き場、たたら場、鍛冶屋の一連の工程をたたら生産遺跡としている。この資料館には、往時の状況を克明に表すたたら関係古文書 6,800 点、関係用具類 200 点が石見地方では唯一収蔵されています。

チベット巡礼探検家の能海寛が中国西域で蒐集したチベット語経典・仏具・仏像、書き残したおびたしい記録物など 3,000 点を収蔵している。文豪の島村抱月関係資料 50 点。

2つの資料館を核として、資料館周辺の遺跡・建造物・城郭など「波佐まるごと博物館」として活きた歴史学習が出来る。「ふるさと学習」にお薦めの資料館です。

出前授業も実施中！

資料館では、「ふるさと学習」に対応できる、パワーポイントによる「現地学習」や「出前学習塾」もおこなっております。対応できるメニューは、「金城の古代・中世史」、「たたら学習」、「金城の偉人・能海寛と島村抱月」、「米紙上納の歴史」、「石見の紙漉きと紙布づくり」、「民具と民俗」、「昔の暮らしと民具」、「石見地方の労働慣行」、「金城の観光」などです。【見学などのご照会は、携帯 TEL 090-4697-2818 へ】



いろいろの間で記念写真

金城の偉人 チベット巡礼探検家『能海寛』・文豪『島村抱月』の生涯が学習できる資料館です。

波佐地域の情報は、HP 波佐ネット <http://hazaway.com/>

をご覧ください。 浜田市金城民俗資料館&浜田市金城歴史民俗資料館

波佐まるごと博物館 (セットでお楽しみ下さい。)

天頂山浄蓮寺・能海寛顕彰碑 (チベット巡礼探検家・能海寛の生家と顕彰碑)
常磐山八幡宮と大絵馬(源氏の武将・佐々木高綱の建立した社。絵馬 16 面)
常磐の大杉とカシ林遊歩道(島根県指定天然記念物の大杉 5 株とカシ林 33 株)
普明山永昌寺・尼子経久公の墓(戦国の武将尼子経久の建立した前寺と経久公の墓)
波佐一本松城 (市指定史跡。黒金の攻防で 400 年間に亘って使用された城郭)
千年比丘 1 号墳(市指定史跡。四世紀前半の円墳、石見地方最古の古墳)
笠松峠の畳石路(市指定史跡。1,200m と全国第二位の距離を誇る畳石路)
能海寛歌碑めぐり(8 箇所 10 基をめぐる 6Km ウォーキング・コース)
波佐まるごとミュージアム・スタンプラリー(ミュージアム内 6 箇所を巡る)

令和6年度企画展

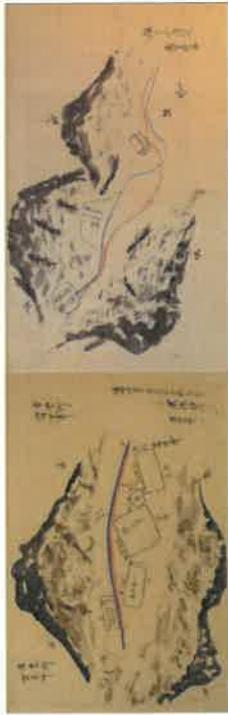
「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」

— 浜田県時代のたたら製鉄 —

会期：令和6年6月1日(土) — 12月28日(土)

会場：浜田市金城歴史民俗資料館

【内容】 古来より盛んであった「たたら製鉄法」は、明治維新後、大きく変容した。反射炉による洋鉄の生産によって、たたら産業が大きく衰退する中で、明治6年7月、「日本坑法」が布告され、浜田県(M4.6—9.11)時代に、借区開坑9条により、旧那賀郡内の、鉄山関係者の砂鉄採集、鉾経営、鍛冶屋経営者が、借区世話掛佐竹要助が取りまとめた仲介事務処理をしたことで、浜田県との往復公用文書によって、旧那賀郡内12箇所の申請書、絵図面などの写により、石見地方の終末期のたたら製鉄の稼働状況の全容が把握される。また、「就鉄不景気諸鉄山鑑定書」8年7月によると石見地方のたたら製鉄関係の経営者が挙って、鑑定書に参加している。その数、鉾経営者20名、鍛冶屋経営者2名、が終末期の経営形態、労賃などが把握され、当時の経営難が理解できると共に、この企画展を通して、石見地方のたたら製鉄の終末期を伺い知ることが出来る。



黒瀬鉾絵図

飯ノ山鉄穴絵図

【明治6年】七月二十日 第二百五十九号

今般鉄山其他諸坑業の規則別冊の通知定條に付ては凡坑物に關係の事件は工部省に於て總管せしめ候条自今金屬其外諸坑物營業の概都て同省へ可申立候。此旨布告候事

日本坑法

第三章 借区開坑

第九 開坑する者は先づ坑区を得へし、坑区の廣狹は其適宜なる起業の用途に於て之を得せしむへし有給質所を得る者は必ず製鉄の業を兼ねへし、凡借区開坑は飯ノ山寮に願出へし、此願書に其得んと欲する坑区の測量圖を添へ出すへし鉄堀を経て借区願出する者は其坑区中別に地主有りと雖とも之を拒むを得ず、尤其處分は借区券を得るの後十二款の如くなるへし

浜田市金城資料館アンケート調査から

(令和6年度 下期分)

【何で知ったか】

・市報はまだ6.7% ・インターネット13.3% ・口コミ40.0% ・新聞・テレビ・雑誌40.0%

【関心の分野】

・歴史34.2% ・民俗34.2% ・郷土史19.5% ・偉人17.1%

【資料館で関心をもったもの】

・民俗資料32.5% ・たたら関係資料30.0% ・能海資料20.0% ・企画展17.5%

【来館者】

・男性52.2% ・女性47.8% ・平均年齢55.4歳

【感想・コメント欄】

- ◆ 自分自身に繋がっている文化や習俗がどのように現代息づいているのか理解できた。未来へつなげることも可能だと知った。
- ◆ 資料と共に写真が展示されており、変わりがありません。浜山の資料群に圧倒されました。
- ◆ 大変細かいものを見せられていただきありがとうございます。
- ◆ 資料の量、質共に素晴らしいです。
- ◆ 初めて来館しました。能海師のことについてもこのようの方が存在しておられたことを知り、その学識の偉大さと、保存と周知に力をつけていることに感動致しました。民具を見るのが好きで知らない道具を見せただけ、また新たな知識を得たことをとてもうれしく良い経験となりました。
- ◆ 詳しく説明していただき、自分だけで見学するよりも理解が深まりました。展示物の種類、数、写真など、どれをとっても素晴らしい資料館です。
- ◆ 型紙図に興味を持ってききましたが、其の他の展示もとても判り易くとても良かったです。
- ◆ 案内していただき、細かいことがよくわかりました。
- ◆ 自分の家から出した民具もあるということをお聞きいただき、これらがいかに大切に管理されているので驚きました。
- ◆ 始めてきましたが、浜山資料があつて、びっくりしました。もっと浜山の人達にも知ってもらいたい。残していただきたいと思っています。

企画展「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」

— 浜田県時代のたたら製鉄 —

会期：令和6年6月1日(土) — 12月28日(土)

会場：浜田市金城歴史民俗資料館

かなぎ民俗

第 84 号 2024 年 10 月 30 日
697-0211 浜田市金城町波佐
浜田市金城歴史民俗資料館

第 48 回文化講演会のご案内

開催日 令和 6 年 11 月 17 日(日) 午前 10 時～正午

会場 波佐まちづくりセンター

演題 「浜田県時代のたたら製鉄」

講師 一石見地方のたたら製鉄の終焉期を紐解くー

隅田正三 氏

無 料

主催者 西中国山地民具を守る会

今回は、金城資料館の企画展に関連したテーマで、金城資料館裏による講演会を開催します。浜田県時代は、明治 4 年から明治 9 年までの 5 年間でしたが、この間に「日本坑業法」の改正と、反射炉(洋鉄)製法による近代化で、たたら製鉄も斜陽産業となり、大きく変容した時期と重なり、石見地方の終末期のたたら製鉄を考える上では大切な時期でありました。問い合わせ先 ☎090-4697-2818

波佐まると博物館看板整備事業

今年度事業として、6 モデルコース看板類 4 種類(60 基)作成して、この程、設置が完了しました。



大型看板(12 箇所)の文化財施設と地図



常盤山人崎置の手水鉢

波佐一本松城

連田神社

鶴瀬神社



柳下寄駱

普明山永昌寺

天頂山淨蓮寺

龜遊山大徳神社

かなぎ民俗

第 85 号 2025 年 1 月 25 日
697-0211 浜田市金城町波佐
浜田市金城歴史民俗資料館

文化財防火デーで総合防火訓練

法隆寺の金堂が昭和 24 年 1 月 26 日に焼失したことで、昭和 30 年に消防庁が 1 月 26 日を文化財防火デーとして指定。ことしで 71 回目を迎えました。

金城資料館では、昭和 47 年度から毎年、1 月 26 日の直近する土曜日に消防防火訓練を実施しています。今年も 1 月 25 日(土)午前 10 時から、東部消防署金城出張所(江津氏・高橋氏)の指導の下、民具を守る会、波佐スポーツ少年団、波佐まちづくりセンターの 3 団体で消防総合訓練(通報・避難誘導・消火)を実施しました。消火訓練では、参加者全員が、3 人ずつ水消火器を使い実体験しました。

午前 11 時から、会場を波佐まちづくりセンターに移動して、パワーポイントによる映像で救命救急措置の指導を受け、AED の使い方、心肺蘇生術などを実体験しました。



波佐スポーツ少年団は当日、午前 9 時から、金城民俗資料館の民具を見学し、囲炉裏の間、紙焼き用具、炭焼き用具、山籠用具、運搬具など昔の生活習慣などを学習しました。

かなぎ民俗

第86号 2025年5月28日
697-0211 浜田市金城町波佐
浜田市金城歴史民俗資料館

企画展「波佐まるごとミュージアム展」の開催

令和7年度の企画展は、「波佐まるごとミュージアム展」を開催します。金城資料館2館を中心とした半径1Km内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説します。

史跡、千年比丘一号墳は、4世紀前半の石見地方最古の古墳(直径15mの円墳)です。この古墳からは、弥生期の砥石が埋納されていました。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡は、縄文時代晩期から継続した3,500年前からの遺跡で、弥生・古墳・奈良時代の堅穴住居を伴った遺跡です。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅱ遺跡から発掘された縄文晩期以降の各時代別の出土遺物も併せて展示しております。

中世の山岳城郭である、波佐一本松城は、風水を用いた連郭式城郭です。特に水堀施設、水撒ね施設のある唯一の城郭です。三面の裾野が切岸に加工され守りの城郭としての機能が見受けられます。

天然記念物「常磐の大杉」5株は、島根県指定で、日本老樹銘木にもなっています。神蔵の裏山全体が、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。常磐山八幡宮は、文治元年に佐々木高綱創建の神社で、戦国時代には、尼子経久が再建して、百座制が確立され、定紋は、四ツ目結。神輿には、尼子氏の定紋が使用されている。7月からは、常磐山八幡宮に奉納されていた、「黒草威腰丸」(室町期)も展示に変わります。(現在、北広島町の戦国の庭博物館へ展示貸出中の為)

他に、笠松峠の量石路、龍袴寛のふるさと浄蓮寺・顕彰碑・ハクモクレン、永昌寺の大杉・尼子経久公の墓所、波佐天満宮、水見城、花城などまごころごとミュージアム内の文化財施設の開設パネル展示もご覧いただき、スタンプラリー、歌碑めぐりツアーなどもお楽しみいただけます。

企画展『波佐まるごとミュージアム展』

会期：令和7年6月1日(日)～12月28日(日)
開館日：土曜・日曜日 午前9時～午後5時
(土・日曜日以外で入館希望の方は事前に予約下さい)
会場：浜田市金城歴史民俗資料館 浜田市金城町波佐
連絡先：予約電話 090-4697-2818



民具通信

第71号 2024年4月12日
浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

第56回定期総会開催

令和6年4月11日、ときわ会館にて、民具を守る会第56回定期総会を開催しました。令和5年度の事業報告、会計報告、令和6年度事業計画、予算案などが原案通り承認されました。会員改選では全員が再任され、16名の会員でアンケート調査のコメント事項を参考に各務課で6年度を運営していきます。

昨年は、金城民俗資料館閉館50周年という節目の年度でした。気持ち新たに指定管理の金城資料館の運営について協議を行いました。本年度の企画展は6月1日(土)～12月28日(土)まで、「明治期の鋳業法に見るたたら製鉄」―浜田県時代のたたら製鉄―の開催が承認されました。企画展開催前に「企画展ガイド」など接遇について研修会を開くことが決定しました。



令和6年度企画展

「明治期の鋳業法に見るたたら製鉄」

―浜田県時代のたたら製鉄―

会期：令和6年6月1日(土)～12月28日(土)

会場：浜田市金城歴史民俗資料館

【内容】 古来より盛んであった「たたら製鉄法」は、明治維新後、大きく変容した。反射炉による洋鉄の生産によって、たたら産業が大きく衰退する中で、明治6年7月、「日本坩法」が布告され、浜田県(M4.6-9.11)時代に、借区開坑9条により、旧那賀郡内の、鉄山関係者の砂鉄採集、鉦屋、鍛冶屋経営者が、借区世話掛佐竹要助が取りまよめ仲介事務処理をしたことで、浜田県との往復公用文書によって、旧那賀郡内12箇所の申請書、絵図面などの写により、石見地方の終末期のたたら製鉄の稼働状況の全容が把握される。

また、「鉦屋不景気諸鉄山鑑定書」8年7月によると石見地方のたたら製鉄関係の経営者が挙って、鑑定書に参加している。その数、鉦屋経営者20名。鍛冶屋経営者2名。が終末期の経営形態、労賃などが把握され、当時の経営難が理解できると共に、この企画展を通して、石見地方のたたら製鉄の終末期を伺うことが出来る。



民具通信

第72号 2024年6月25日
浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

浜田県時代のたたら製鉄産業

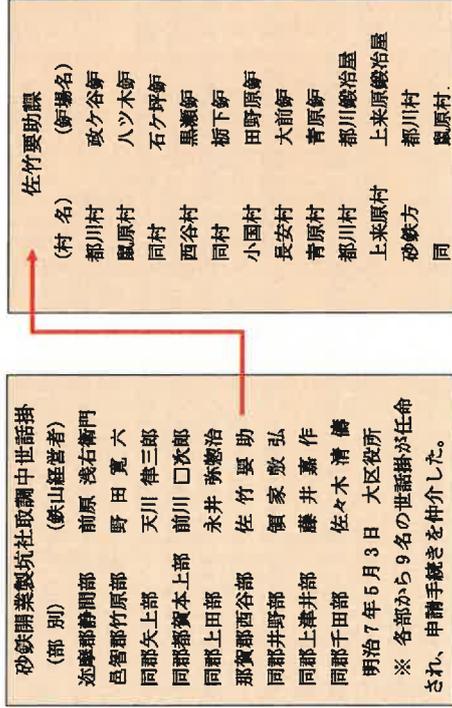
今回、金城歴史民俗資料館では、企画展「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」を開催中です。浜田県時代の石見地方のたたら産業に特化した企画展です。会期は、12月28日(土)迄です。

浜田県の歩み

明治4年6月25日、津和野藩を藩し、浜田県となる。同年5月には、浜田県内の郡毎に郡役所が置かれた。そして、明治9年4月、浜田県を島根県に合併となる。

- 那賀郡 本庁にて取扱。
- 美濃郡 益田に役所を置く。
- 邑智郡 市山に役所を置く。
- 近摩郡 安濃郡
- 鹿足郡 津和野に役所を置く。

浜田県時代の鉄山関係



金城資料館並びに周辺の環境整備

6月23日(日)に、金城資料館と周辺の環境美化のための草刈奉仕作業を実施しました。毎年実施しているもので、今回は、資料館内の構内の修復作業も併せて実施した。



民具通信

第73号 2024年11月17日
浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

第49回文化講演会開催

11月17日(日)午前10時から正午まで、波佐まちづくりセンターにおいて、第49回文化講演会が開催されました。演題は、「浜田県時代のたたら製鉄」―石見地方のたたら製鉄の終焉期を探る―と題して、金城資料館長の岡田正三氏が講演された。

講演では、①黒金(たたら鉄)の歴史的背景 ②黒金を巡る戦乱の攻防 ③江戸時代のたたら製鉄 ④明治時代は、たたら製鉄の終末期 ⑤たたら製鉄は、歴史を紐解く鍵 の5つの項目に分けてパワーポイントをを用いて講話された。

この文化講演会は、西中国山地民具を守る会が主催しているもので、文化財に関わるテーマで50年前から毎年1回、開催しているものです。今回は、たたら製鉄に関心のある市民の方々が多数参加されました。なお、金城資料館の企画展「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」の会期は12月28日までです。



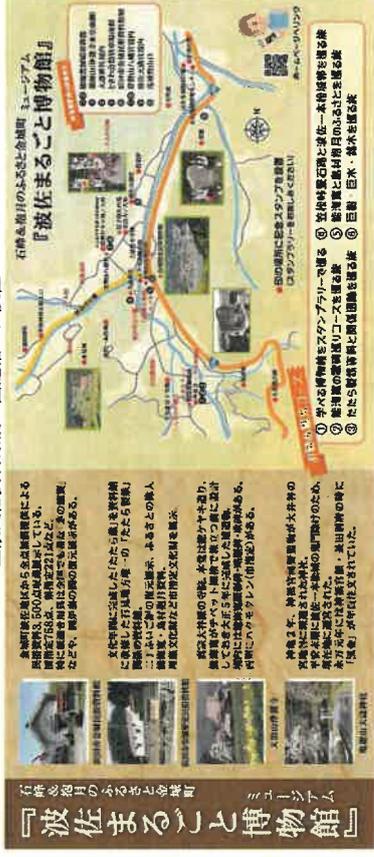
講演のパワーポイント・タイトル



講演会の模様

波佐まるとミュージアムの看板設置

金城民俗資料館前の国道沿いに設置



民具通信

第74号 2025年2月19日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

文化財研修旅行

2月16日(日)、昨年に続き文化財研修旅行を実施しました。午前7時にときわ会館を出発、一路下関路へと向かった。午前11時前に、下関市立歴史博物館に到着。学芸員さんより懇切丁寧な案内で、平家終焉の地、戦国大名の大内氏から毛利氏へ、毛利秀元と長府藩の金製から幕末維新の歴史を見学しました。

昼食は、下関市の「平家茶屋」で下関名物のふく料理を食しました。2時から唐戸市場など見学して午後6時にときわ会館へ無事到着。今回のドライバーは、山本宏明氏にお願いしました。

今回も展示施設、看板類の表記、受付カウンターでの接客、ボランティアガイドさんの接遇などを学ばせていただきました。



下関市立歴史博物館にて

学芸員さんより展示説明を受ける

金城民俗資料館見学

2月19日、雲城小学校3年生(24名)が金城民俗資料館見学で来館されました。学習テーマ「かわってきた人々のくらし」で、岡田館長から説明を受けた後、自由見学で、各自のタブレットで写真を撮り、個人学習をしたり、民具の質問を受け説明をしました。

囲炉裏を囲んで、昔の実際の生活追体験をして、座る位置が決まっていたことや、箱膳が個人別にあつたこと、灯りは灯台で肥後を焚き夜なべ仕事をしていたことなどを学習しました。また、嫁入り駕籠に乗って昔の嫁入りを体験しました。



民具通信

第75号 2025年4月11日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

第57回定期総会開催

令和7年4月10日、ときわ会館にて、民具を守る会第57回定期総会を10名出席で開催しました。会長挨拶で中国電力のエネルギー伝統文化賞の受賞通知を受け4月21日の授賞式に出席の旨の報告がありました。記事では、令和6年度の事業報告、会計報告、令和7年度事業計画、予算案などが原案通り承認されました。昨年、発足当初から会員の上山信人氏が逝去されたため、15名の会員で7年度を運営していきます。

役員改選では加藤昭則副会長(事務局局長兼務)の辞任により空席となり、事務局長に岡田哲夫氏が選任されました。その他は役員留任となりました。

今年の金城資料館の企画展は6月1日(日)から12月28日(日)まで、「波佐まるごとミュージアム展」一学べる博物館の取り組みの一の開催が承認されました。金城民俗資料館開館指定管理の運営について協議を行い、研修旅行などについても協議しました。



エネルギー伝統文化賞受賞

エネルギー文化・スポーツ財団は、4月21日、2025年度のエネルギー賞の表彰式を広島市中区のホテルで開き、美筋賞は備前市の陶芸家石田和也氏、音楽賞は、米子市出身フルート奏者酒田結氏、伝統文化賞は、西中国山地民具を守る会(岡田正三会長)、スポーツ賞は、柳井市のバドミントン指導者竹光唯至氏、財団の荻田和美理事長から盾と目録を受け

取った。

民具を守る会は、昭和43年11月に設立以来57年間に亘って、民俗資料の調査・研究・収集・保管・活用尽力。文化財を活かした町づくり、「実践民俗学」の推進、「民俗資料回想セラピー」など先駆的な活動が認められ受賞に至ったものです。



民具通信

第76号 2025年7月3日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

企画展「波佐まるごとミュージアム展」

—社会科学習で来館 波佐小学校—

令和7年度の企画展「波佐まるごとミュージアム展」は、金城資料館2館を中心とした半径1km内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説し、現在開催中です。

7月3日(木)、波佐小学校5・6年生が、社会科学習で金城歴史民俗資料館へ来館され、波佐地区内の長田郷遺跡、七渡瀬I・II遺跡、城ノ前遺跡、榎ヶ曽根遺跡、千年比丘1号墳などから出土した石器(石斧・矢じり・スクレパー・凹石・叩き石・石推)、縄文土器、弥生土器・砥石など3,500年前前に使用されていた道具類を手に取り観察して、縄文土器の細目模様に興味を持ち、教科書で見ただけでは、実際の大きさが判りにくく、矢じり等は考ええていた大きさを、実物は小さかったと感想を述べてくれました。写真は、波佐小学校児童の皆さん。



今回の企画展では、天然記念物「常磐の大杉」5株は、島根県指定で、日本老樹幹木にもなっています。神殿の墓山全体が、みんなでする郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。史跡・波佐一本松城は、水堀施設のある唯一の連郭式城郭です。城郭立体図も併せて展示しております。千年比丘一号墳は、4世紀前半の石見地方最古の古墳で、埋納されていた弥生期の砥石も展示しています。史跡・長田郷遺跡、七渡瀬I・II遺跡は、縄文時代晩期から継続した3,500年前からの遺跡です。各時代の出土品も公開展示しています。

なお、室町時代の甲冑『黒韋威胴丸』(残欠)も7月1日より展示ケースにて公開展示しております。

今年も文化財施設の清掃奉仕デー実施

今年も、金城資料館を中心に館庭や館外周辺の国道・県道沿いの歩道などの草刈り清掃作業を実施しました。



民俗館から見た歴史館



奉仕作業への参加者



歴史館から見た民俗館

かなぎ民俗

周知版

697-0211 浜田市金城町波佐
浜田市金城 民俗資料館
浜田市金城 歴史民俗資料館

今一度見直そう！祖先の足跡…

常設展 『波佐の山村生産用具・生活用具』

われわれの祖先が、日常の生産生活に用いた民俗資料(民具)は、今から約50年前に、金城町波佐・長田・小国地区において、西中国山地民具を守る会員が全戸訪問による聞き取り調査を経て全点数が無償提供により約3,500点の民具が収集された。この内の758点が国指定重要有形民俗文化財として、221点が島根県指定有形民俗文化財となり、全国的にも稀少な民具を数多く収蔵している資料館です。



茅の漉簀、藁の受簀など稀少な旧製法による紙漉き用具が完全に収蔵展示されている。量・質共に揃っている、この資料館は学術的にも高い評価を受けている。一点毎の民具には、名称・寸法・製作地・使用地・使用下限・使用上限・使用方法・使用解説などが細部にわたり記録されている。何回訪問しても、飽きのこない資料館でもあります。民具の使用形態の写真も豊富に展示し、往時の姿を彷彿させます。ふるさと学習で是非ともご来館ください。

『民俗資料回想セラピー』を推進中！

当資料館は、半世紀にわたる「実践民俗学」を推進して、民俗資料を用いた使用形態(農作業・紙漉き作業・麻蒸し作業・屋根葺き作業などの民俗の記録写真を豊富に保管しており、収蔵している民具を親で、パワーポイントによる写真記録を映像で鑑賞して、往時の民具資料の使用状態を思い起し、最後にデスカッションにより、当時の仕事や地域の状況を回想していただき、認知症の予防、抑制の一助となる支援活動を推進しています。特老・介護福祉施設、高齢者学級など団体でご来館いただく場合は、インストラクターを配置しますので事前にご連絡をお願いします。

【予約先】携帯 090-4697-2818

令和 6 年度 浜田城資料館事業報告書

1 展示事業

(1) 展示について

展 示 名	期 間	入 館 者 数	開 館 日 数	1 日 平 均 入 館 者 数
企画展(前年度継続) 浜田の城下と港	4/1～5/26	1,403 人	48 日	29.22 人
ミニ企画展 日本遺産 北前船寄港地の旅 北海道・東北篇				
企画展 切図からみた城下町	6/8～9/29	1,652 人	98 日	16.85 人
ミニ企画展 日本遺産 北前船寄港地の旅 東北・北陸地方篇				
特別展 御便殿	10/12～1/26	1,464 人	88 日	16.63 人
企画展 浜田城とその城下	2/8～3/31	554 人	45 日	12.31 人
ミニ企画展 日本遺産 北前船寄港地の旅 北陸・中国・四国・近畿篇				
合 計		5,073 人	279 日	18.18 人

(2) 利用状況の年度別推移について

年 度	期 間	入 館 者 数	開 館 日 数	1 日 平 均 入 館 者 数
令和元年度	10/12～3/31	2,598 人	140 日	18.55 人
令和2年度	4/1～3/31	3,490 人	243 日	14.36 人
令和3年度	4/1～3/31	2,715 人	247 日	10.99 人
令和4年度	4/1～3/31	3,791 人	273 日	13.88 人
令和5年度	4/1～3/31	4,795 人	278 日	17.24 人

(3) 学校関係利用について

展示事業等に合わせて、下記の学校等の利用があった。

月	団 体 名	入 館 者 数
5	島根県立大学 1 年生等(浜田探索ツアー)	119 人
	浜田高等学校通信制課程(地域巡検)	16 人
6	くるみ学園きずなの会	10 人
7	浜田第三中学校 2 年生(ふるさと学習)	14 人
	放課後デイサービス ゆうはーと	7 人
8	浜田第一中学校 3 年生職場体験	2 人
9	山びこ学級(浜田城学習)	8 人

10	原井小学校 5 年生 (浜田城見学会)	51 人
11	島根県立大学 1 年生	10 人
	今福小学校 5・6 年生 (江戸時代の浜田について)	12 人
3	恋するバナナ合同運営サポーター (島根県立大学生等)	8 人
合 計		257 人

2 普及事業

(1) 企画事業について

展示内容や季節などに関連するテーマを設け、館内において来館者を対象とした事業を実施した。

展 示 事 業 名	期 間	場 所
企画事業 (前年度継続) みんなで咲かせよう！ 「さくらの木」2024	4/1～4/12	展示室 2
夏休み企画クイズ 切図の一部を探してみよう	7/23～9/1	展示室 1

(2) 学習関係事業について

- ・「御便殿見学会～明治時代の歴史的建造物を探検～」

開館 5 周年特別展「御便殿」に併せて開催

日 時：11 月 23 日 (土) 10:00～12:00

講 師：國分俊幸氏 (島根ヘリテージマネージャー)

参加者数：10 人

(3) 関連事業について

NPO 法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会と裏千家淡交会石見支部による「浜田城山茶会」開催を協力したほか、石見観光振興協議会主催の「石見周遊スタンプラリー いわみぐるり」、浜田市観光協会主催の「どんちっちはまだ！デジタルスタンプラリー」2024 夏と「どんちっちはまだ！スタンプラリー」2024 冬に参画した。

3 P R 事業

「浜田城資料館」、「浜田城とその城下」、「御便殿」のパンフレットを増刷し、配布した。

Instagram による情報発信では、48 回の投稿を行い、フォロワー数は 92 増の計 574 となった。

令和6年度浜田城資料館アンケート集計結果

集計期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日

回収枚数:117枚

令和6年度入館者数:5,073人

1. お客様ご自身についておきかせください。(複数回答可)

《性別》

①男性	②女性	合計
79	33	112

《年齢》

①10代以下	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80代以上	合計
14	6	9	17	30	25	7	7	115

《お住まい》

①浜田市内	②県内	③県外	合計
22	7	82	111

【県内外(地域)】

・北海道・宮城・千葉・埼玉・群馬・茨城・東京・神奈川・愛知・滋賀・三重・大阪・兵庫・奈良・京都・福井・石川・岡山・広島・香川・山口・福岡・長崎

【県内】

・松江市・出雲市・大田市・江津市

《交通手段》

①徒歩	②自転車	③自家用車	④タクシー	⑤バス・JR	⑥レンタカー	⑦その他	合計
12	8	59	3	24	11	5	122

【その他の方法】

・飛行機・寝台特急

2. 当館に来られたのは何回目ですか。

①はじめて	②2~3回	③4~5回	④6回以上	合計
99	8	2	4	113

3. 今回ご来館の目的をお教えてください。(複数回答可)

①常設展	②企画展	③浜田城跡	④外ノ浦	⑤御便殿	⑥その他	合計
59	12	71	7	13	14	176

【その他の理由】

・浜田城跡に行って
・お茶会に参加したから
・100名城スタンプ
・時間があったから
・スタンプラリー
・浜田市に来て知った
・Googleマップで見つけた
など

4. 当館の展示などにより浜田城や北前船、建築物(御便殿)についてわかりましたか?

①わかった	②少しわかった	③わかりにくかった	合計
78	29	1	108

5. 当館について何かからお知りになりましたか。

①浜田市HP	②その他のHP	③広報はまだ	④知人など	⑤チラシ・ポスター・パンフレット	⑥テレビ・ラジオ	⑦新聞	⑧公式インスタ	⑨続100名城	⑩その他	合計
27	10	0	7	7	0	2	1	41	24	119

6. 当館で興味を持たれたことや、知りたいと思ったことがあればお教えてください。

- ・浜田城は戦国時代はどうだったか？毛利氏と尼子氏の攻防はあったのかなど。(40代・男性・愛知県)
- ・浜田の歴史(40代・男性・奈良県)
- ・映像が見れたので分かりやすかった(40代・女性・市内)
- ・武士とお寺の人の関係はどのようなものだったのかについて知りたく思った。(50代・男性・市内)
- ・長浜人形はじめて知りました。(60代・女性・京都府)
- ・浜田市上府町で生まれましたが、城があることは知ってましたが、なかなか見れず、今回やっと来られ浜田市はすばらしいと感じました。また来たいと思います。(80代・女性・大阪府)
- ・外ノ浦について、よく知らなかったのもっと知りたいと思いました。浜田城について、より具体的に分かりました。(30代・男性・愛知)
- ・昔と現在のどれだけ変わったか知れてよかった。(20代・女性・市内)
- ・浜田城や浜田藩の事が分かりました。(40代・男性・市内)
- ・実際の北前船について、どんな船だったかよくわかりました。(70代・女性・市内)
- ・皇太子の行啓の記録が興味深かったです。(50代・男性・東京都)
- ・れきしのことをもっとしりたくなかった(10代以下・女性・広島県)
- ・江戸期の北前船の歴史がよくわかりました。近代のことをもう少し詳しく知りたい。(30代・男性・大田市)
- ・浜田藩庁について知りたいです。(20代・男性・松江市)
- ・浜田の歴史が大変よくわかった。北前船の関係や各地のこの展示もあり、大変勉強になった。(50代・男性・県外)
- ・歴代城主や築城主の画像やプロフィールの展示があると良い。(30代・男性・山口県)

など

7. 当館へのご希望、ご意見があればお聞かせください。

- ・桜の飾りつけが春らしくてよかった。長浜人形の飾り方について、アンケートで詳しいことが分かれば良いと思った。(50代・男性・市内)
- ・動画の見たいのが見れなかった。タイミングが合わなかったので可能であれば、希望の動画を見れるようにするか、今、何の動画を流しているか知れるようにして欲しいと思いました。(30代・男性・愛知県)
- ・資料館のことを宣伝してほしいです。(10代以下・女性・江津市)
- ・浜田藩歴代城主の企画展をやしてほしいです。(40代・男性・市内)
- ・またきたいです。こんどは、むかしの人のせいかつをおしえてください。(10代・女性・市内)
- ・ちょっと子どもにもわかりやすくしてください。(10代以下・男性・広島)
- ・後館も見たかったので残念です。(50代・女性・市内)
- ・小学生・中学生向けの資料の提供があってほしい。(10代以下・女性・市内)
- ・大変勉強になりました。(50代・男性・東京都)
- ・ステキな笑顔で迎えて頂きありがとうございます。(50代・男性・兵庫県)
- ・今回スタンプラリーで来館しましたが、楽しかったです。もっとイベントなどで人を集めてほしいです。せっかく魅力があるのにもったいないと思いました。(40代・女性・市内)
- ・とてもわかりやすい展示でした。城散策の予備知識がえられました。(40代・男性・千葉県)
- ・外ノ浦の験潮場も国内では大変古い方の部類なので、ぜひ取り上げてほしい。(30代・男性・大田市)
- ・攻城団というサイトとコラボしてそのサイト用のチラシをおかせてもらおうと、チラシ目当ての方が来られますよ。(40代・男性・市内)
- ・大変充実しており、無料で維持されていること、敬服した。(50代・男性・県外)

など

各資料館・支所展示利用状況(令和6年度)

施設名	利用	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	備考
旭歴史民俗資料館	一般	19	0	47	2	4	1	2	直営
	学校	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	19	0	47	2	4	1	2	
弥栄郷土資料展示室	一般	8	0	0	0	0	5	3	直営
	学校	0	0	0	0	0	15	0	
	合計	8	0	0	0	0	20	3	
三隅歴史民俗資料館	一般	228	19	207	25	20	111	127	直営
	学校	80	279	98	13	0	0	5	
	合計	308	298	305	38	20	111	132	
金城支所展示					506	949	634	729	※R3年度集計開始
旭支所展示					61	47	195	191	
弥栄支所展示					36	122	151	130	
三隅支所展示					61	125	80	135	

郷土資料整理業務について

1 業務目的

市内各資料館をはじめとする市所有の歴史（古文書）、民俗、考古、美術、自然等の郷土資料について、保管・管理状況を把握して整理を行い、簡便な管理や活用に資することを目的とする。

業務は令和6年度から令和8年度に実施する。

2 業務概要

- (1)資料の物理的整理（保存状況の把握）
- (2)資料の台帳整理（リスト化と写真撮影）
- (3)保管場所の整理（種類別に一元化）

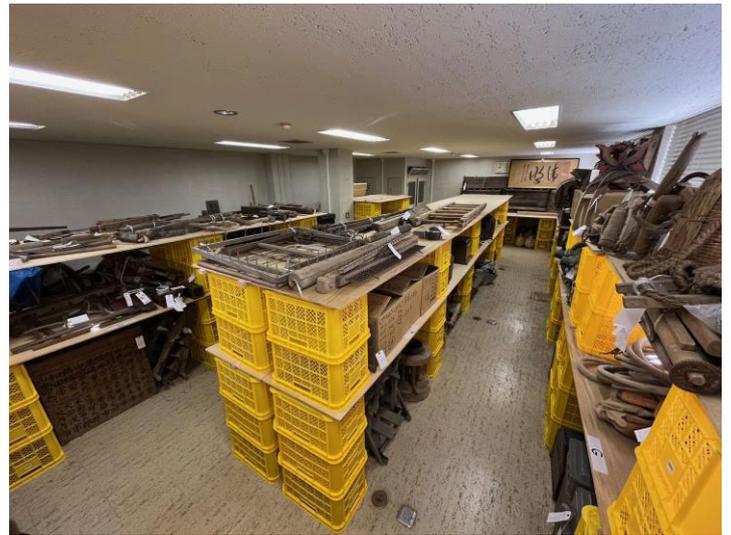
施設名	整理前	整理後
三階文化財保管庫	民具・考古等	民具を中心
有福文化財保管庫	考古・古文書等	考古を中心
雲城文化財保管庫	古文書等	古文書を中心

3 各年度事業

年 度	業 務 内 容
令和6年度（実績）	(1)三階文化財保管庫 ・環境整備（棚等の設置） ・考古資料を有福文化財保管庫へ搬出 ・収蔵資料（民具）の台帳整備及び収納の完了 (2)有福文化財保管庫 ・古文書を雲城文化財保管庫に搬出 ・三階文化財保管庫からの考古資料を搬入・整理 (3)雲城文化財保管庫 ・環境整備（棚の設置） ・有福文化財保管庫からの古文書を搬入・整理
7年度	(1)浜田郷土資料館資料整理 ※展示室、特別収蔵庫、2F収蔵庫整理。また、民具等の一部を雲城・三階文化財保管庫に移動
8年度	(1)浜田郷土資料館資料整理 (2)有福文化財保管庫の考古資料や各資料館資料の確認整理（台帳や写真の補足等） (3)整理業務の最終報告作成



三階文化財保管庫整理前状況 1



三階文化財保管庫整理後状況 1



三階文化財保管庫整理前状況 2



三階文化財保管庫整理後状況 2



雲城文化財保管庫状況 1



雲城文化財保管庫状況 2